

第9回埼玉緩和薬物療法研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2014年2月22日(土) 14:00～16:30

開催場所： 大宮法科大学院 OLSビル2階講堂

講 演1: 「突出痛にどう対応するか～フェンタニル口腔粘膜吸引剤をいかすには～」

埼玉県立がんセンター緩和ケア科 医長 瀧野 陽子 先生

講 演2: 「第9回緩和ケアミニレクチャー」

～腰の痛みを訴えたため除痛を開始した前立腺癌患者～

秀和総合病院 薬剤部 吉羽 真由美 先生

特別講演: 「緩和ケア地域介入 最近の緩和薬物療法のエビデンス」

聖隷三方原病院 緩和支持治療科 部長 森田 達也 先生

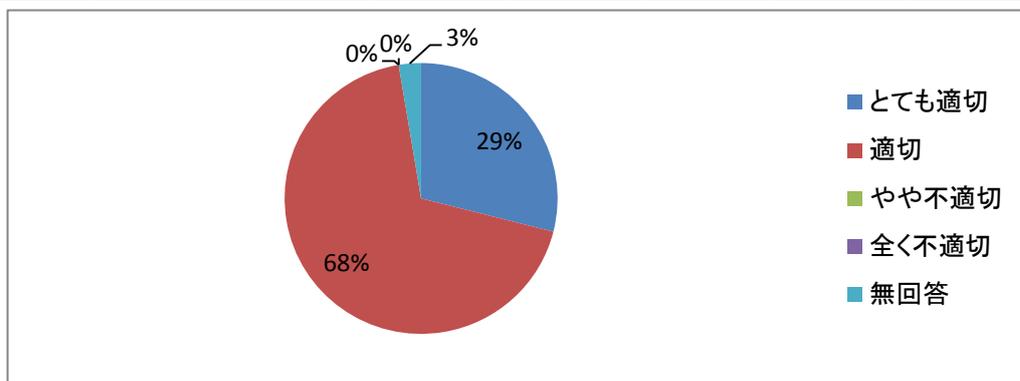
総合評点
3.3
(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
85	76	89%	9

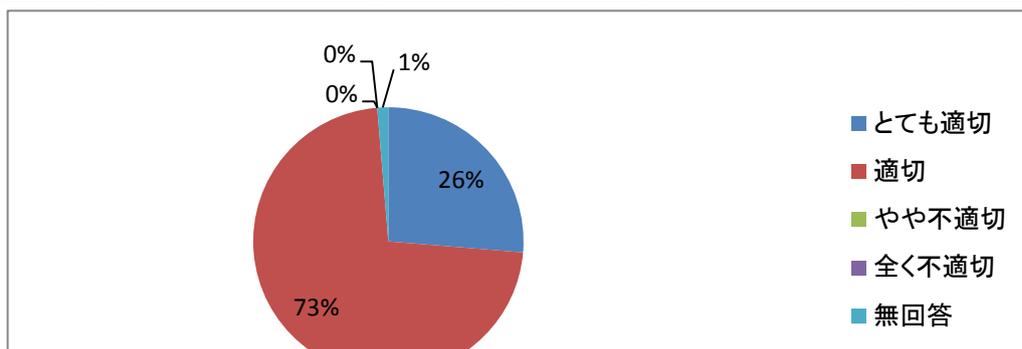
評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

1. 講演テーマについて

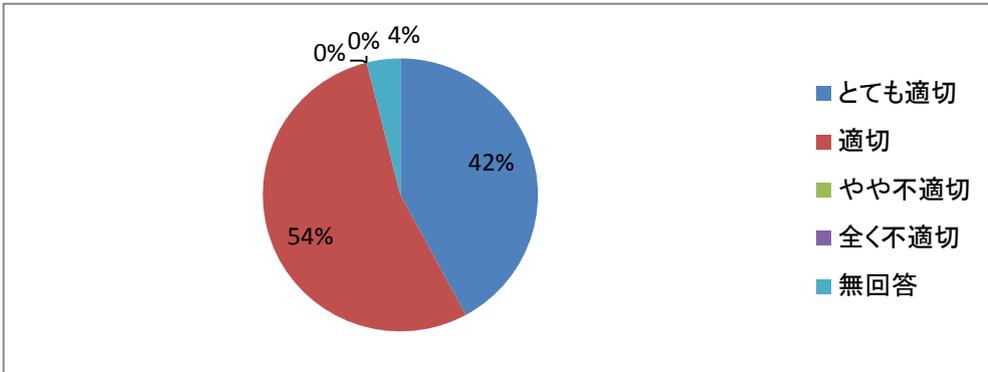
1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	22	52	0	0	2	3.3



1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	20	55	0	0	1	3.3

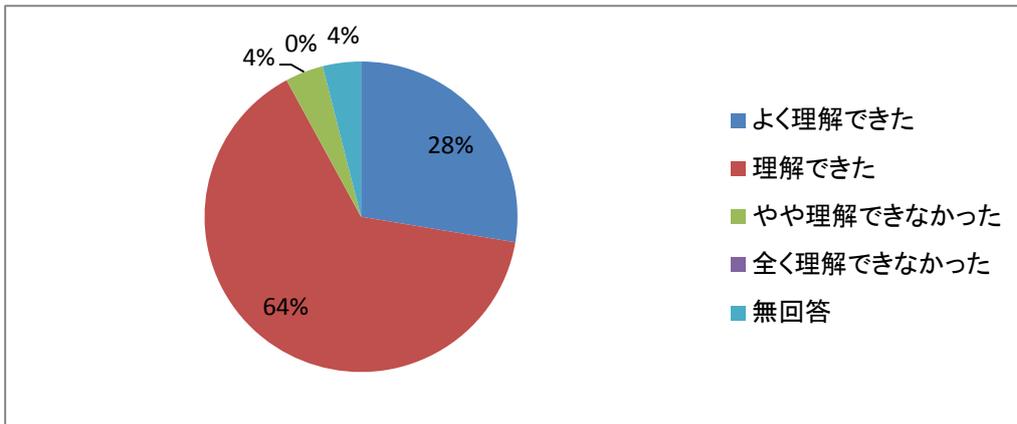


特別講演	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	32	41	0	0	3	3.4

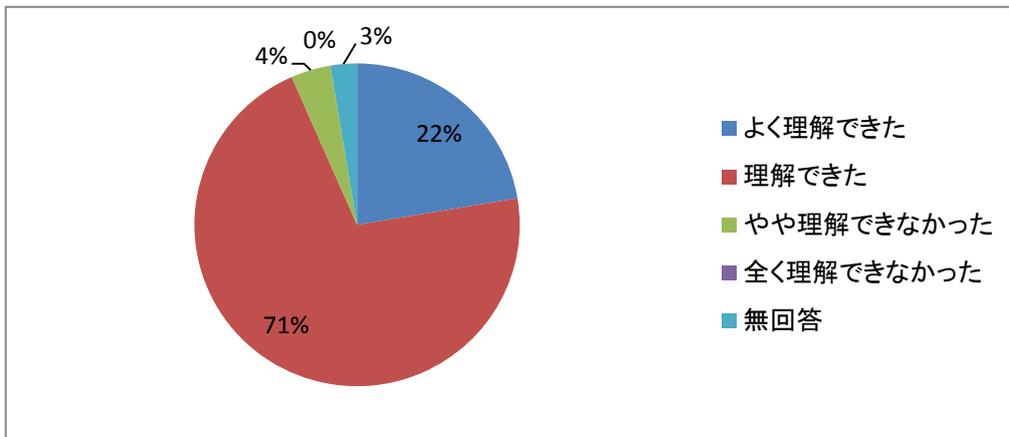


2. 講演内容について

2-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかつた	全く理解できなかつた	無回答	平均
	21	49	3	0	3	3.2

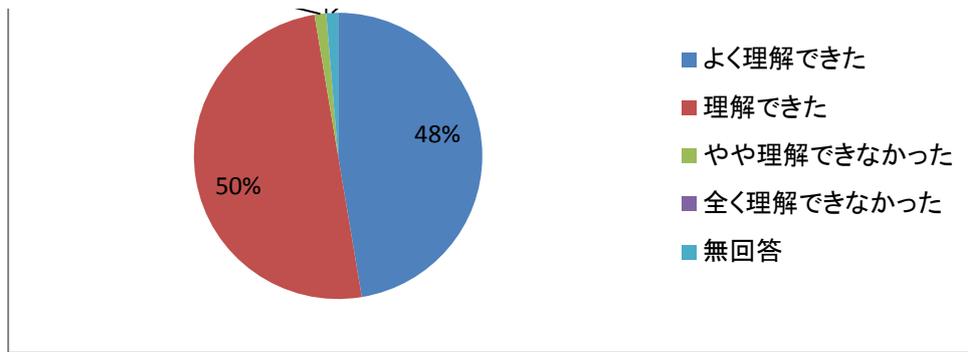


2-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかつた	全く理解できなかつた	無回答	平均
	17	54	3	0	2	3.2



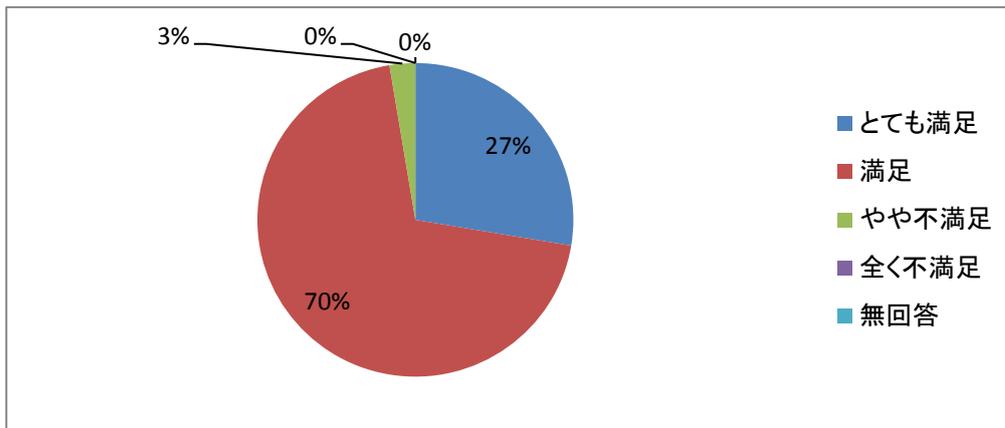
特別講演	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかつた	全く理解できなかつた	無回答	平均
	36	38	1	0	1	3.5





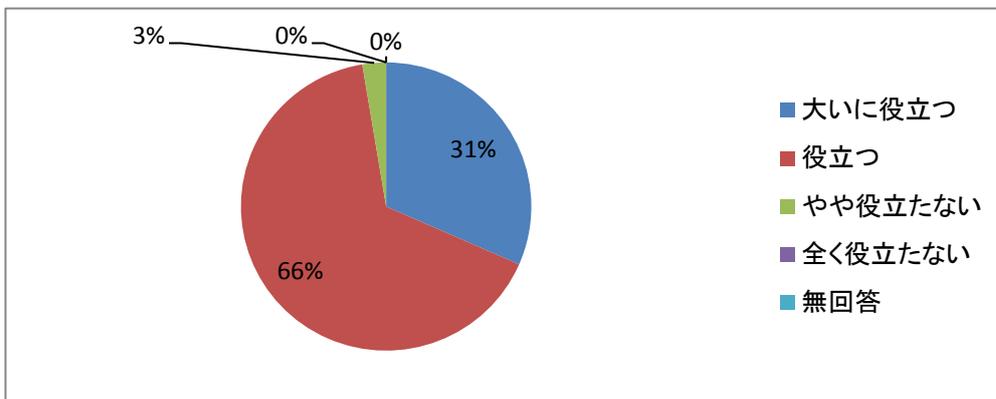
3. 本研修会の印象について

3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	21	53	2	0	0	3.3



4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立つ ない	全く役立つ ない	無回答	平均
	24	50	2	0	0	3.3



アンケート意見 (9枚)

2. 講演内容について		
2-①	実例がありよかった	1
	予測性の疼痛と他の突出痛の使い分けが分かった	1
	基本だけでなく、専門病院ならではの工夫や体験を教えてほしかった	1
2-②	タイミングの確認と処方提案について分かった	1
特別講演	OPTIM-studyの結果、内容が興味深かった	1
	非常に勉強になった	1
	院外薬局の勤務者としてはもう少し現状の業務に即した内容を聞きたかった	1
4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか		
	カンファレンスや院内に啓発していきたい	1
5. 今後取り上げてほしいテーマについて		

降圧剤の選び方	1
オピオイドによる副作用対策の臨床実体	1
医師からみた薬剤の使い分け（高血圧薬、DM薬など）	1
鎮静、せん妄などの周辺症状の対策	1
緩和	1
在宅での介護	1
栄養	1
褥瘡	1
6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望	
最新のフェンタニル速放錠の話が参考になった	1
貴重な話が聞けてよかった	1
地域の連携の重要性を感じたので、出来ることから始めたいと思った	1
森田先生の話を知りたくて栃木から参加しました。もっと実臨床の話を知りたい	1
イーフェンとアブストラルのレスキューはどちらが安全に使用できるか	1
イーフェンを使って一度中止し、再度使用する時の適用量を知りたい	1